

# 稚桜 (わかざくら)

～南中校長室より～

平成 28 年度 NO. 13

平成 28 年 3 月 1 日



*Be Proud Of Us*

今年度も残すところ 1 か月となりました。15 日には、第 70 回の卒業式を迎えます。3 年生には、「一期一会の出会い」「夢を持ち熱を持ち、努力の継続を」「当たり前のことを当たり前」と式辞の中で、話したいと思っています。「立つ鳥跡をにごさず」と言います。素晴らしい卒業式にしたいものです。また、2 年生には最高学年として、1 年生には後輩を迎える立場として、次の学年に向かって、最後の踏ん張りとして反省を期待します。

以前、経団連の調査で新入社員に期待する能力の一位が 11 年連続で、「コミュニケーション能力」であると書きました。これは生徒にも付けさせたい力でもあります。ではコミュニケーション能力をつけるには何が必要か。私は「世代と立場を越えたコミュニケーション」が大切であると思います。相手に気を使いながら、自分の主張を織り交ぜていく。例えば、部活（O・B・OG）やアルバイト、先生との会話など、学校生活には自分と異なる世代・立場の人間とコミュニケーションをとる機会がたくさんあります。そのような機会を利用しながら、相手の話に傾き、共感し、相手の質問に対して適切な回答ができる訓練を中学校の時代からしていく必要があると思います。以下、「コミュニケーション能力」に関わって「稚桜」で書いてきたことのまとめです。

- 礼儀作法は潤滑油（NO1）
- 噂話は悪口や陰口でしかない。尾ひれが付いて誤解が増長される。自分の目で見ても感じて、確認をすることが大切である。（特にラインは危険）（NO3）
- 「過去と他人は変えることはできないが、未来と自分（の考え方・見方）は変えられる。（NO5）
- どんなに苦しいことも「終わりがある」（NO6）
- 「必ず良くなる」「必ず乗り越えられる」と信じ、そして言い続けること（ピグマリオン効果）生きる力になる。（NO7）
- ちょっと背伸びして届きそうな目標を常に持ち、努力を惜しまないこと。（NO7）
- やって見せて、言ってみせて、やらせてみて ほめてやらねば人は動かじ。（NO9）
- 人の出会いは宿命。嫌なこと（人）も反面教師として自分を高める材料にする。（NO9）
- 無駄な努力など一つも無い（NO11）
- 子どもは大人が考える以上に日々成長している。手をかけ過ぎると子どもを駄目にする。（NO12）
- 相手の過ちを非難しても何も生まれない。「寛容の心」が大切である。（NO12）
- 真っ白な心で聴く。（NO12）

学校カウンセラーの予定（3月）

岸田カウンセラー 3日(金) 10日(金) 17日(金) 吉村カウンセラー ありません

## 本年度の本校の重点目標

5月号でお知らせした目標の達成状況です。生徒アンケートの結果です。

### ① 基本的な生活習慣の確立及び規範意識の醸成

- 「あいさつ革命スクール南中」－世界－あいさつが飛び交う学校－を合言葉に率先垂範で指導に当たる。自己評価および外部評価で「あてはまる」を70%以上目指す。
- 校長・教頭・生徒指導主事が中心になり毎日、校門であいさつをする。

<結果> 57%で目標には達しなかったが、肯定的な回答は95%から97%に増加

### ② 教育相談体制の確立

新年度当初に全校集会で生徒に紹介。プリントおよびメールで保護者に周知徹底。市C〇と県C〇の連携の促進。特に、県C〇については月1回の不登校親の会ピアサポートクラブの主催。別室登校生徒の教室復帰への手立てについて教職員への指導助言。不登校生徒の学級復帰を目指す。

### ③ 学習意欲や自主的な学習態度の育成及び読書の習慣の向上。

- 家庭学習の時間を増やすため各学級・学級で工夫する。家庭時間1時間以上する生徒の割合を70%以上にする。

<結果>58%から70%に増加。目標を達成。

- 全校一斉の朝読を毎週木曜日に実施する。3年生では毎日実施する。毎日読書を30分以上する生徒を30%以上にする。まったくしない生徒を25%以下とする。

<結果>24%から21%に減少したが、全くしない生徒は36%から29%に減少した。10分から30分の生徒、10分以下の生徒は増加した。

### ④ 生徒会活動や係活動等の活動内容の周知。

- 生徒の主体性を尊重した活動を保証し、自己有用感（4，5，6）の割合を平均80%以上にする。

<結果>問4 94%から98%に増加。問5 66%から71%に増加。問6 67%から70%に増加。全体では76%から80%に増加。目標達成。

### ⑤ 開かれた学校づくり

- 学校の活動内容等の情報配信を積極的に行う。（毎週金曜日校長メール・随時ホームページ・月1回学校だよりの工夫。）
- 生徒の地域活動に参加する割合を60%以上にする。

<結果>53%から57%に増加

- 体育的行事だけでなく文化的行事も地域に公開し学校を知ってもらう。

<裏面あり>

N O	質 問	項 目	(%)	(%)
			H28. 5月	H29. 2月
1	あなたは自分であいさつ ができていますか	ア 当てはまる	53	57
		イ どちらかといえば当てはまる	42	40
		ウ どちらかといえば当てはまらない	4	3
		エ 当てはまらない	1	0
2	あなたは授業時間以外 に家庭でどのくらい勉強 していますか(学習塾や 家庭教師も含む)	ア 3時間以上	11	33
		イ 2時間～3時間	26	16
		ウ 1時間～2時間	21	21
		エ 30分～1時間	17	15
		オ 30分以内	18	10
		カ まったくしない	7	5
3	あなたはどのくらい読書 をしていますか(教科書、 参考書、漫画、雑誌は除 く)	ア 2時間以上	6	3
		イ 1時間～2時間	7	7
		ウ 30分～1時間	11	11
		エ 10分～30分	26	30
		オ 10分以内	14	20
		カ まったくしない	36	29
4	物事を最後までやり遂げ て、うれしかったことがあ りますか	ア 当てはまる	63	67
		イ どちらかといえば当てはまる	31	31
		ウ どちらかといえば当てはまらない	4	1
		エ 当てはまらない	2	1
5	難しいことでも失敗を恐 れないで挑戦していますか	ア 当てはまる	15	18
		イ どちらかといえば当てはまる	51	53
		ウ どちらかといえば当てはまらない	30	26
		エ 当てはまらない	5	3
6	自分にはよいところがあ ると思いますか	ア 当てはまる	19	23
		イ どちらかといえば当てはまる	48	47
		ウ どちらかといえば当てはまらない	21	20
		エ 当てはまらない	12	10
7	地域の行事に参加してい ますか	ア 当てはまる	19	22
		イ どちらかといえば当てはまる	34	35
		ウ どちらかといえば当てはまらない	25	20
		エ 当てはまらない	22	23

#### 中学校部活動における休養日の徹底について (H29.1.10 奈良県教育委員会より)

- 基本的に週2日の部活休養日を達成目標とする。
- 週末の公式戦・公式コンクール等への参加でやむを得ず週1回の休養日になってしまうケースも一定数は想定している。
- 休養日の中には年12日(月1日)以上の「土日祝日の完全休養日」を含む  
これらのことを必ず厳格に徹底するように周知する

左記のことを受けて本校でも現在試行しています。

4 月には、生駒市教育委員会、生駒市中学校校長会の連名で文書を配布する予定です。  
ご理解とご協力をお願いします。

裏面にアンケート結果掲載